

シリーズ「グローバル・ジャスティス」
第3回

"From the Ethics of Care to Global Justice"

Eva Feder Kittay



Distinguished Professor of Philosophy
at Stony Brook University / SUNY

福祉が削減され、自己責任論が横行し、女性の貧困化が深刻化する現代のアメリカ社会。ケアを中心とした人と人とのあいだのつながりにこそ、平等が宿ると主張するキティ教授によれば、公正なケアを保障する社会こそが、正義に適った社会である。移民女性がケア労働者へと編成されていくグローバル社会において、ケアする・される関係性から新しいグローバルな正義の可能性について考える。

Blackwell Studies in Feminist Philosophy (with Linda Alcoff, 2006). Cognitive Disability and Its Challenge to Moral Philosophy (with Licia Carlson, Blackwell 2010). Love's Labor: Essays on Women, Equality, and Dependency (Routledge 1999)
[=牟田・岡野訳『愛の労働あるいは依存とケアの正義論』(白澤社、2010年)。



同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時： **11月10日(水)**

18:30-20:00

会場： **明德館 M1番教室**

来聴歓迎・予約不要
英語講演(通訳あり)

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp